

講義名	福祉行政と福祉計画		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	中西 一人		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>			
社会経済の発展につれ、家族機能や地域共同体をはじめとする国民生活の変容やそれに伴う福祉理念の変化等を背景に福祉制度は常に見直されてきたが、その要因の分析を踏まえつつ今後の福祉のあり方を考察する。			
<b>到達目標</b>			
① 福祉制度の歴史及び福祉行政の現状について理解する。 ② 各福祉計画の目的、内容、推進方策について理解する			
<b>提出課題</b>			
中間に小テストを実施する。			
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>			
小テスト実施の次回に講評及び解説を行う。			
<b>評価の基準</b>			
授業中の受講態度及び期末試験で総合的に評価する。			
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>			
福祉分野での活動、公務分野への就職を希望する学生の受講をおすすめする。			

<b>教科書</b>
. 使用しない。

<b>プリント資料及び参考文献</b>
資料：その都度プリントを配布する。参考文献：国が発行している関連の白書、講義名と同タイトルの書籍

<b>授業計画</b>
1 オリエンテーションとイントロダクション 2 福祉制度の歴史①（戦前～1950年代） 3 福祉制度の歴史②（1960～1970年代） 4 福祉制度の歴史③（1980～1990年代） 5 福祉制度の歴史④（2000年代～） 6 福祉行政の実施体制 7 福祉専門機関及び福祉専門職とその役割 8 福祉財政制度と費用負担 9 福祉計画の種類、目的と意義 10 福祉計画策定の方法 11 地域福祉計画、地域福祉活動計画 12 老人福祉計画、介護保険事業計画 13 子ども子育て支援事業計画、次世代育成支援行動計画 14 障害者計画、障害福祉計画 15 関連計画（住生活基本計画、医療計画等）、まとめ

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
予習：授業計画に沿って、関連する項目について各自の問題意識や疑問点を整理おくこと。（約2時間）復習：授業で取り上げた課題について、参考文献を自学する等により関心を深めること。（約2時間）

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>

<b>実務経験の有無及び活用</b>
実務経験あり：県職員として各種福祉計画策定業務や保健福祉施策の総合調整業務で培った知識や経験を踏まえ、授業に反映させる。

<b>備考</b>